

## 事例 2 HABITAモデルハウス（静岡県富士市）

第一建設株式会社

# 一室複数灯で構造材と一体化した 陰影ある建築空間を創造

富士山の麓、静岡県富士市の高台の分譲地「富士神戸（こうど）の社」に展示されているのが、第一建設株式会社様のHABITAモデルハウスです。古民家の知恵を活かした柱と梁の「あらわし」が特徴で、住まい方に合わせた間取りの変更にも対応しています。地域に合う洗練されたデザインや構造体を美しく演出し、環境にも配慮したLED照明やMODIFYが採用されたモデルハウスをご紹介します。

### 柱と梁が「あらわし」の構造体 高いデザイン性が購入の決め手

第一建設様は昭和48年に設立。富士市、沼津市など静岡県中・東部を中心に事業展開され

てきました。HABITAモデルハウスは、北に富士山、南に駿河湾を一望でき、海にも山にもアクセスが便利な閑静な住宅街にあります。

来客層はファミリー層が中心ですが、団塊世代のご夫婦や、ご主人だけの場合も多く、展示

場に来られた方はまず柱と梁が「あらわし」となった構造体に驚かれ、高いデザイン性が決め手となり、購入されるお客様も多いそうです。「開放感のある空間にしたい」、「耐震性に考慮したい」などのニーズに応えるために技術提携した構造体がHABITAです。

### 国産の集成材と間面記法の採用で 耐震性が高く、開放的な大空間を実現

「2000年住宅」がコンセプトのHABITAは大断面木構造を基本に国産集成材を使用。構造材を壁で覆わず外気に触れさせることで、呼吸する木材の性質を生かします。

HABITAモデルハウス「SORA-MADO」の間取りは、古民家の設計に習い、「田の字」型の部屋を持つ間口2間（約3.6m）、奥行き2間に五寸角柱を配置した8畳の間面記法（※）の組み合わせを基本に設計しています。屋根の

中央に「そら」を見上げる大きな「マド」を配置。その下には吹き抜けの中庭を家の中心に据え、20畳の広さを持つLDKと洋室が中庭の周囲を取り巻くように設計されています。すべての窓を中庭に向けてことで、カーテンのいらぬ、開放的な大空間を実現しています。耐震性にも考慮し、梁の接合部は金物工法を採用。欠損部分が少なく、集成材の強さと相まってより安心の強度が得られます。第一建設様にとって構造体を基本に自由に設計デザインできるHABITAのような構造体の設計は初めてでしたが、資産価値が高く、地域の特性に合う家づくりをめざしていち早く技術提携することを決めました。

### 空間のバランスを考慮しながら 一室複数灯の照明で陰影ある空間に

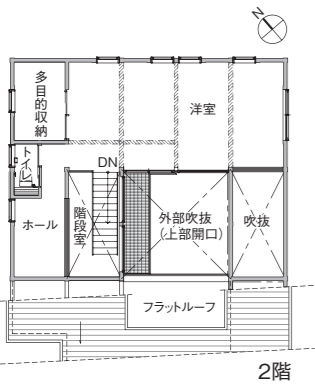
第一建設様は、「照明は普段存在感がなく、点灯時だけ主張させたい」と考えられ、そのため柱と梁の高さと大きさ、長さ、塗装の仕方まで美しく演出するように照明を設置。照明と空間のバランスを考慮しました。

LDKの梁には同じラインに配線ダクトを取り付けることで、デザインをすっきりと見せる配慮をしています。必要な場所だけに配置す



#### ■ 建築概要

所在地：静岡県富士市  
設計：第一建設株式会社  
施工：第一建設株式会社  
構造：木造(軸組工法)2階建て  
敷地面積：202.94㎡  
建築面積：82.14㎡  
1F床面積：71.21㎡  
2F床面積：42.23㎡  
延床面積：113.44㎡



2階



1階

※間面記法(けんめんきぼう)…古代建築の規模を表現する方法のことで、「間」は柱間数を表し、「面」は庇の掛かっている面の数を表す。HABITAでは柱と梁を等間隔に並べた間取りの構成として捉えている。



吹き抜けとなった開口部2階にあるMODIFY (DOME)のスタンド。



玄関のMODIFY (SPHERE)のブラケットが壁面を照らして、空間に広がりの感を出す。

LDKから中庭を望む。梁に付けた配線ダクトに設置したスポットライトがシンプルな空間のアクセントになり、梁のラインを強調

る一室複数灯は、陰影ある空間をつくり出すため、スポットライトがアクセントになり、より梁のラインを強調しています。

**目的に合わせて照明を使い分け  
MODIFYであかりの存在を主張**

建物のラインからは、シャープな印象を受けるため、玄関に丸いSPHERE(スフィア)のブラケットを配置して外観と室内のバランスを調整。室内は、やわらかい印象になっています。

2階のフリールームもLDK同様、スポットライトが基本の照明です。壁に間接照明を用いることで、柱や壁面に光が反射し、空間をより広く見せる役割を果たしています。天井には梁があるため、その分、高さ感と明るさ感を出すような照明設計を考えました。逆に低い位置にはDOME(ドーム)のスタンドを設置して、シンプルな空間にアかりが灯った時だけ存在を主張。普段は空間と調和している照明ですが、点灯時は空間にはなやかな印象をもたらす工夫がされています。

**配線まで考慮した美しいデザインは  
世代を超えて住み継がれていく**

照明を配置するにあたり、最も苦勞されたのは配線の問題です。構造体が表に出ているため、設計の段階から、電気工事会社様と相談し、配線を床下に埋め込み、柱と梁をすっきりと見せるような工夫がされています。

HABITAは、政府の「長期優良住宅先導的モデル」にも採択され、環境負荷の低減をめざしています。柱と梁で構成された美しいデザインは、住むほどに愛着が深まり、世代を超えて住み継がれていきます。



2階フリールーム。壁は珪藻土、柱はスギ、床はヒノキを使用し、調湿性にも優れている。間接照明で木目の美しさが際立つ。